

- ② 高等学校生徒指導研究推進校
- 学 校 名 福島県立磐城農業高等学校
 - 研究 期 間 昭和52・53年度の2か年間
 - 研究 主 題 基本的行動様式を確立させるための指導の展開
無気力、無関心な生徒や問題行動に走りやすい傾向に対し、学校生活に親しみを持たせ、学習意欲を高める指導はどのようにしたらよいか。

(2) 福島県教育委員会指定

- ① 目 的
県立学校における教科の学習指導、生徒指導に関する実践的な研究を行い、その成果をひろく県内各県立学校等に普及させ、本県県立学校における教育活動の充実向上に資することを目的とする。

| 研究分野 | 学 校 名 | 研 究 主 題 | 研究期間 |
|-------|--------|--|---------|
| 全 教 科 | 県立田村校校 | 授業の効率を高めるためのくふう ——特に学習意欲向上のための指導法—— | 52～53年度 |
| 生徒指導 | 県立福島高校 | 非社会的傾向にある生徒の指導 | 〃 |

第5節 道徳教育・生徒指導

1 道 徳 教 育

各学校並びに関係機関の努力によって、学校の全教育活動を通して行われる道徳教育及び道徳の時間の指導が充実の度を加えつつある。

また、新学習指導要領が7月23日に告示され、「道徳の実践の指導を徹底する」ことを重点として、目標・内容について改訂が行われた。

更に、文部省指定道徳教育協同研究校の指定が新たに行われ、来年度までの2年間にわたる研究がスタートした。

(1) 小学校教育研究会道徳部会

- ① 研究 主 題
「ねらいにせまる指導過程の構成は、どのようにしたらよいか」
- ② 主 催
福島県教育委員会、福島県小学校教育研究会、関係市町村教育委員会
- ③ 会 場
地区 各地区ごとに設定（16会場）
県 富岡第二小学校
- ④ 期 日
地区 各地区ごとに実施
期日 10月4日～5日

(2) 中学校教育研究会道徳部会

- ① 研究 主 題
「豊かな人間形成をはかるための道徳教育はどのようにすればよいか」（道徳の時間の指導過程と資料）
- ② 主 催

- 福島県教育委員会、福島県中学校教育研究会、関係市町村教育委員会
- ③ 会 場
地区 各地区ごとに設定（16会場）
県 福島市立渡利中学校
- ④ 期 日
地区 各地区ごとに実施
県 10月18日～19日

(3) 昭和52年度道徳教育講習会

- ① 趣 旨
公立小学校、中学校における道徳教育の充実、指導の徹底を期するため、道徳教育における基本的な問題及び指導上の諸問題を解明し、教職員の資質の向上を図る。
- ③ 主 催
文部省、県教育委員会
- ③ 主 題
○ 道徳教育の全体計画の必要性
○ 道徳の年間指導計画の改善
○ 道徳の指導過程と指導方法
○ 資料の選択、収集、整備と活用
○ 昭和52年度道徳教育の指導の重点
○ その他、管内の実情に即した主題
- ④ 会 場
各管内ごとに設定（8会場）
- ⑤ 期 日
各管内ごとに実施、教育課程講習会と併せ3日間
- ⑥ 参加者数
小学校 206名
中学校 113名

(4) 道徳教育研究学校

道徳教育協同推進校（文部省指定）

| 管 内 | 地区名 | 学 校 名 | 校 長 名 | 研 究 主 題 |
|-----|-----|-----------------|-------|---------------------------|
| 県 南 | 東地区 | 東村立 小野田小学校 | 庄司 勝雄 | 道徳性を高め 実践力を培う道 徳教育 |
| | | 釜子小学校 | 矢萩 良朔 | |
| | | 東中学校 | 斎藤 賢一 | |
| | | 河東村立 河東第一小学校 | 一ノ瀬秀夫 | 地域とともに 実践力を高める 道徳教育 |
| | | 河東第二小学校 | 横山 重雄 | |
| | | 河東第三小学校 | 二瓶 政郎 | |
| | | 河東中学校 | 長谷川 久 | |
| | | | | |

2 生 徒 指 導

〔義務教育課〕

生徒指導は、すべての児童生徒を対象とし、一人一人の人格の価値を尊重し、個性・能力の伸長を図りながら、同時に社会的、国民的な資質や行動を高めることを目的として、次の諸点に重点を置いて指導した。

- 教師の共通理解を深め、指導体制を確立する。
- 実態に即した指導計画に改善する。
- 生徒理解をいっそう充実させる。